

2021年度  
学校関係者評価報告書

学校法人 国際総合学園  
国際外語・観光・エアライン専門学校

## <開催概要>

- 【開催日時】 2021年 11月30日(火) 15:30～16:30  
【開催場所】 新潟市民プラザ 会議室  
【出席者】 (学校関係者評価委員) 新潟日米協会 専務理事 関根 伸春  
(学校関係者評価委員) 一般財団法人 魚沼市観光協会 山田 智之  
(学校職員) 国際外語・観光・エアライン専門学校 校長 栗林 直子  
(学校職員) 国際外語・観光・エアライン専門学校 教務・就職部長 桑野 知実

- 【次第】 1) 開会あいさつ (校長 栗林 直子)  
2) 2021年度教育実績報告 (教務部長 桑野 知実)  
3) 2021年度就職内定報告 (就職部長 桑野 知実)  
4) 2021年度自己点検・評価結果について (校長 栗林 直子)  
◆「教育理念・目標」 ◆「学校運営」 ◆教育活動  
◆「学修・教育成果」 ◆「学生支援」 ◆「学生の受入募集」  
◆「財務」 ◆「法令順守」 ◆「社会貢献・地域貢献」  
6) 学校評価者委員会からのご意見及び指摘事項 (学校関係者評価者委員)

## <学校関係者評価委員会評価及び指摘事項>

評価:	適切 4	ほぼ適切 3	やや不適切 2	不適切 1
-----	------	--------	---------	-------

◆「教育理念・目標」 【評価: 4】

≪学校関係者からの意見等≫

学校の職業教育の特色を生かしている。また、学生の就職実績や課外活動の実績からも分かるように、社会のニーズ、業界のニーズに合った人材教育ができていると評価する。

◆「学校運営」 【評価: 4】

≪学校関係者からの意見等≫

SNSやHPを上手く活用し教育活動に関する情報の公開が行われている。また、情報システム化により、業務が効率的に図られている。人事、給与に関する規定等も整備され、職員がいつでも規定について閲覧できる環境が整っている。

◆「教育活動」 【評価: 3.5】

≪学校関係者からの意見等≫

関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成や見直しが行われている。また、職業教育に対する外部関係者からの評価について、観光系に関しては、観光DXや企業連携など業界からの意見を充分に取り入れカリキュラム編成が行われている。非常に能力があり、業界経験者が多いが、職員の能力開発のための研修をもう少し取り入れてもよいのではないかと。

◆「学修・教育成果」 【評価: 4】

≪学校関係者からの意見等≫

- ・毎年、語学教育の新たな取り組みを導入し学生の能力向上に努めていることは教育実績からよく理解できる。英語に関しては、新たな取り組みとしてスタディサプリ、QQイングリッシュを導入し実践的な英語能力向上の底上げとなり、同時に英検準1級合格者輩出にも繋がったと評価できる。また、韓国語の実績も毎年向上し、TOPIKの実績は素晴らしい。日々の学生の努力だけでなく、先

生方の熱心な指導があつてのことである。ぜひとも語学表育は引き続きご指導を頂き、県内唯一の語学・観光専門学校として、更なる実績の輩出を期待したい。

- ・観光系の学科については、国内旅行業務取扱管理者試験の合格者輩出は昨年以下であったことは非常に残念であったが、新たな取り組みとして、業界での即戦力を踏まえ、総合旅程管理者資格取得の挑戦は社会へ出た際に社会経験のない新卒者には自信と繋がることであろう。

◆「学生支援」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

- ・若者にとって SNS がコミュニケーションツールの中心の一つであることを考慮し、LINE を活用した学生指導も新たな取り組みであり、効果的に活用できているようである。
- ・また、SNS を活用した保護者との連携も、昨年同様 LINE を活用し、効果的に行われている。
- ・発達障害の疑いのある学生に関しては、サポートする体制を外部ともっと連携してすべき。

◆「教育環境」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

- ・今年度のスタディサプリの導入、次年度に向けた新たな挑戦である QQEnglish の導入を踏まえ、WIFI 環境の整備を行った。
- ・オンライン授業に向けて環境整備と ZOOM を使用したオンライン授業について講師間で研修を行い非常勤講師も含め情報共有を行った。

◆「学生の受入募集」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

評価についての意見・指摘なし。

◆「財務」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

評価についての意見・指摘なし。

◆「法令等の遵守」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

評価についての意見・指摘なし。

◆「社会貢献・地域貢献」 【評価： 4】

《学校関係者からの意見等》

- ・コロナ禍であったため、学内外の各種イベントが中止となり、ボランティア活動が昨年度よりも難しかったことは推測できる。ただ、学内やオンラインなどでできるボランティア活動や社会貢献も不可能ではないと思うので、環境や状況に合わせてボランティア活動は促進していくべきである。企業との触れ合いから学生の考え方や王道が変化していくと思うので、積極的に活用を。

◆「国際交流」 【評価： 3】

《学校関係者からの意見等》

- ・出席管理は毎年、様々な手法を用いながら管理の向上ができていているように感じる。学費未納入問題とアルバイト時間超過問題は連結しているため、事務局も含め、学費納入について早い段階での学生相談の場が必要に思う。

上記、学校関係者評価委員からの指摘事項について、職員で指摘事項を共有し、更なる教育の質の向上のため、以下の通り改善を行った。

## < 学校関係者評価結果・意見等の活用状況 >

### ◆ 「教育理念・目標」

#### 《意見等の活用》

就職の実績状況からも、学校における職業教育の特色を生かしていると評価を頂いた。

引き続き、就職部と担任が一丸となり、学生たちの夢の実現のために力を注いでいきたい。これまでと同様、企業から求められる人材育成のため、継続して企業との連携を図りながら学生への指導を行っていく。

### ◆ 「学校運営」

#### 《意見等の活用》

これからますます求められる「情報システム等による業務の効率」のため、WIFI 環境の整備を行った。学生だけでなく、職員にとっても環境の整備を整えた。またコロナ禍でのオンライン授業や職員のテレワークなど、遠隔でも効率よく、授業や業務ができるようシステム作りを行っている。

### ◆ 「教育活動」

#### 《意見等の活用》

常に時代と状況に合わせ社会に求められる人材育成を念頭にカリキュラムを設定している。専門知識の他にも語学力向上や問題解決力など企業が求める能力の向上に今後も着手していきたい。また、学生を育成するに当たり、教員の能力向上は不可欠だと思っている。最近はオンライン研修が増え、比較的参加しやすい状況ではあるので、積極的に教員研修の参加を促していきたい。

### ◆ 「学修・教育成果」

#### 《意見等の活用》

委員より、卒業生のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用してもよいのではないかとのご意見を頂いた。これに関し、在校生の職業教育を目的に、そして、時代と共に変わりゆく専門的分野での必要知識等を今後のカリキュラム改善を目的に卒業生を招いたセミナーを実施していくこととした。

### ◆ 「学生支援」

#### 《意見等の活用》

保護者との適切な連携について、経済的な支援をこれまで以上に整備し、促進していく。

また、保護者との連携に関し、もう少し連携を図った方が良いのではないかとのご意見に対し、これまでは電話での連絡が主流であったこともあり、フルタイムで働いている保護者とは中々職員の勤務時間内でコンタクトが取れなかったが、ここ最近では、SNS 等を利用して保護者も多いこともあり、LINE 等の SNS でのツールを活用することで、保護者とのコミュニケーションが密になることを期待し、改善を図ることとした。また、さらに、郵便だけではなく、学校サイドからの連絡、案内等に関しても、HP への掲載を活用していることとした。

### ◆ 「社会貢献・地域貢献」

#### 《意見等の活用》

学外ボランティアができない中での代案というご指摘について、学内インターシップとしてオープンキャンパスや検定試験誘導員など、学内で行うイベントや行事について学生が積極的に参加できる環境作りを今年度は行う。

以 上